

# 環境と人との対話を演出する。 確かな実績と新たな時代への挑戦 サイン表示面制作のバイオニア

エムエスアート

エムエスアート（渋谷区東、小幡彰子社長、03・3400・1096、<http://www.msart.co.jp>）は、約70年の業歴を持ち、企画からデザイン、印刷に至るまで、自社一貫でサイン制作を手がけている会社である。サインとは、一般的には看板を指し、主に宣伝、広告の目的で設置されることが多いが、それ以外にも情報を伝達する掲示物や建造物のシンボルとしての役割も果たしている。

同社は屋外広告業として1951年4月、「佐野工房」の名で創業した。国鉄（現JRグループ）で「鉄道掲示器規定」が定められ、掲示器の書体が変更になった際、コンペの結果、創業者である佐野稔氏がデザインした「丸ゴシック体」が採用された。その後規定改正時も、佐野氏がデザインした「スミ丸ゴシック体」の文

字が採用され、多くの公共交通機関で広く利用されるなど、公共交通におけるサイン表示に大きな影響を与えた。

現在では、主にパソコンを用いたデザイン、データ作成によるサイン制作を行っている。また、サイン表示の多様化に伴い、最新の機械設備の導入や表示面制作からサイン本体の制作、設置に至るまでの一貫生産体制の充実を図ってきた。また、旧来より培ってきたシルクスクリーン印刷の技術向上にも力を入れ、若手社員に技術を伝承し守っている。

同社の技術を利用したサインは、駅の出口や乗換表示、地図をはじめ、今もさまざまな公共交通機関や商業施設で使用され、多くの人々の身近な存在として、生活のライフラインを担っている。

ンした「スミ丸ゴシック体」の文



最新の設備が揃った  
“都心のクリエイティブファクトリー”

# とうきょう

佐野氏のデザインした「スミ丸ゴシック体」は、今もさまざまな公共交通機関や商業施設で使用されている